研修報告書

患者の状態観察と報告
看護師としての思考力を磨こう！！

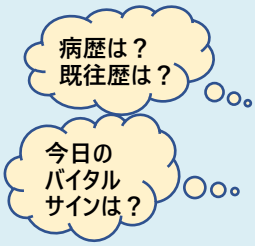
2023 年 5 月 18 日 23 日 25 日 30 日に新採用者 83 名を対象に「患者の状態観察と報告」研修を開催しました。

【目的】
患者の状態観察に合わせた観察ができる
【目標】
1. 情報収集し、患者状態が予測できる
2. 患者の観察ができる
3. 患者状態をアセスメントできる
4. PNS パートナーに自分の考え（アセスメント）を報告できる

この研修は、模擬患者さんのナースコールに対応するシミュレーション研修です。「患者状態の予測」「観察」「振り返り」を繰り返し行うことで
看護師としての思考力
を磨くトレーニングを行いました。

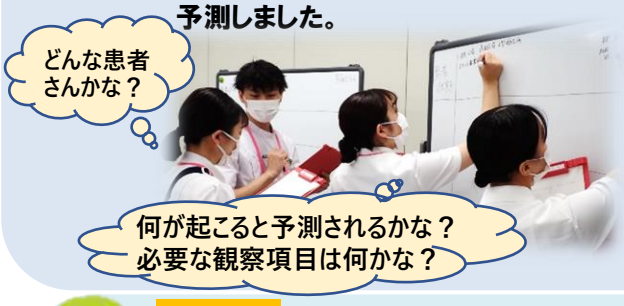
1 【演習①:情報収集】

診療録から模擬患者さんの情報収集を行いました。



2 【振り返り】

グループメンバーで情報を共有し、患者さんに何が起こる可能性があるか予測しました。

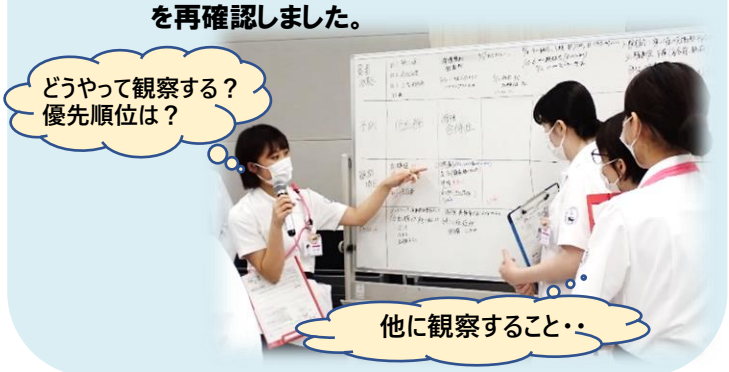


3 【演習②:ナースコール対応】

患者さんの訴えや状態から何が起こっているか予測しながら対応しました。

4 【振り返り】

ナースコール対応を振り返り、患者さんに何が起こっているかアセスメントし、観察項目を再確認しました。



5 【演習③:ISBARC で報告】

もう一度ナースコールに対応し、ISBARC で報告するトレーニングを行いました。

ISBARC
Identify 自分
Situation 患者状態
Background 臨床経過
Assessment 状況評価
Request 提言・要望・
Confirm 復唱確認

部署のみなさまへ

アンケートより「学びを実践に活かしたい」という声が多く聞かれました。
日々の臨床のなかで「意図した情報収集」「患者に何が起こりうるか予測すること」「アセスメント」を繰り返し行うことで看護師としての思考力が磨かれます。
また、モニターなど道具がなくても五感を使って観察できることを学びました。
実践でさらに磨きをかけられるように、是非皆様が良い手本を示しながら、OJT で継続して指導を行っていきましょう。

参考文献：松谷美和子，他．看護過程と「臨床判断モデル」．看護教育．2015；56（7）：616-22．

作成者　看護キャリア支援室　鵜瀬葉月　柴田久美